

東海ブロック 在宅医療連携拠点事業発表会

在宅医療連携拠点事業
～愛知県高浜市いきいき広場の取り組み～

高浜市 福祉部 保健福祉グループ

山本美喜子

本日の発表内容

1

- ・高浜市の概要

2

- ・いきいき広場のワンストップサービス

3

- ・在宅医療連携拠点の取り組み

高浜市の概要

位置

三河平野南西部

名古屋市から25km

面積

13平方キロメートル

人口(平成25年1月1日)

45,888人

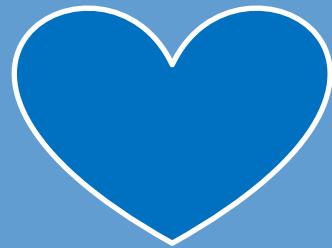
65歳以上人口 8,011人
(17.46%)

要介護認定者数(1号) 1,369人
(認定率17.2%)

医療機関数 医科診療所18か所
病院(100床) 1か所
歯科診療所14か所
薬局13か所



高浜市いきいき広場のワンストップサービス



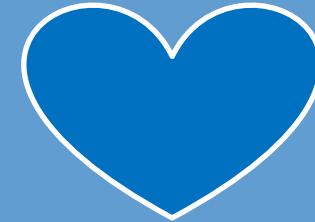
平成11年5月より

高齢者・介護
総合相談



平成18年6月より

障がい者
相談



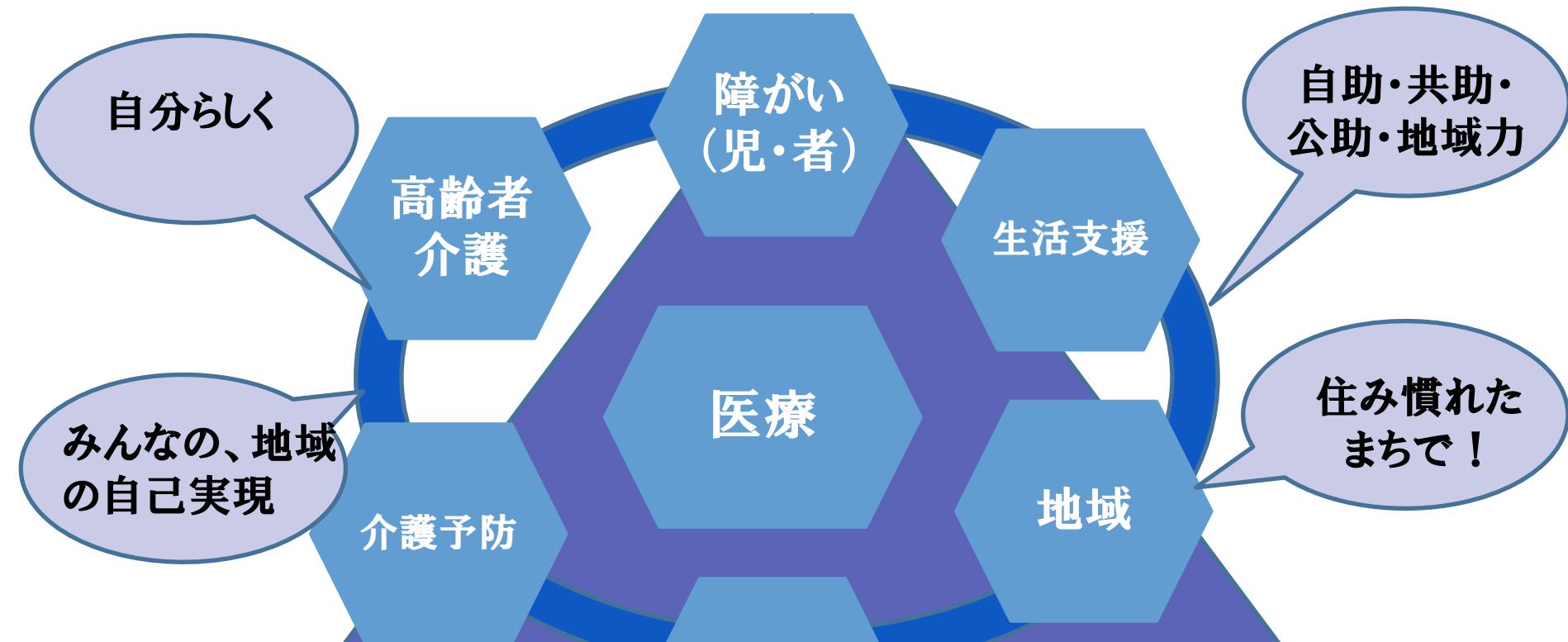
平成23年4月より

障がい者
就労支援



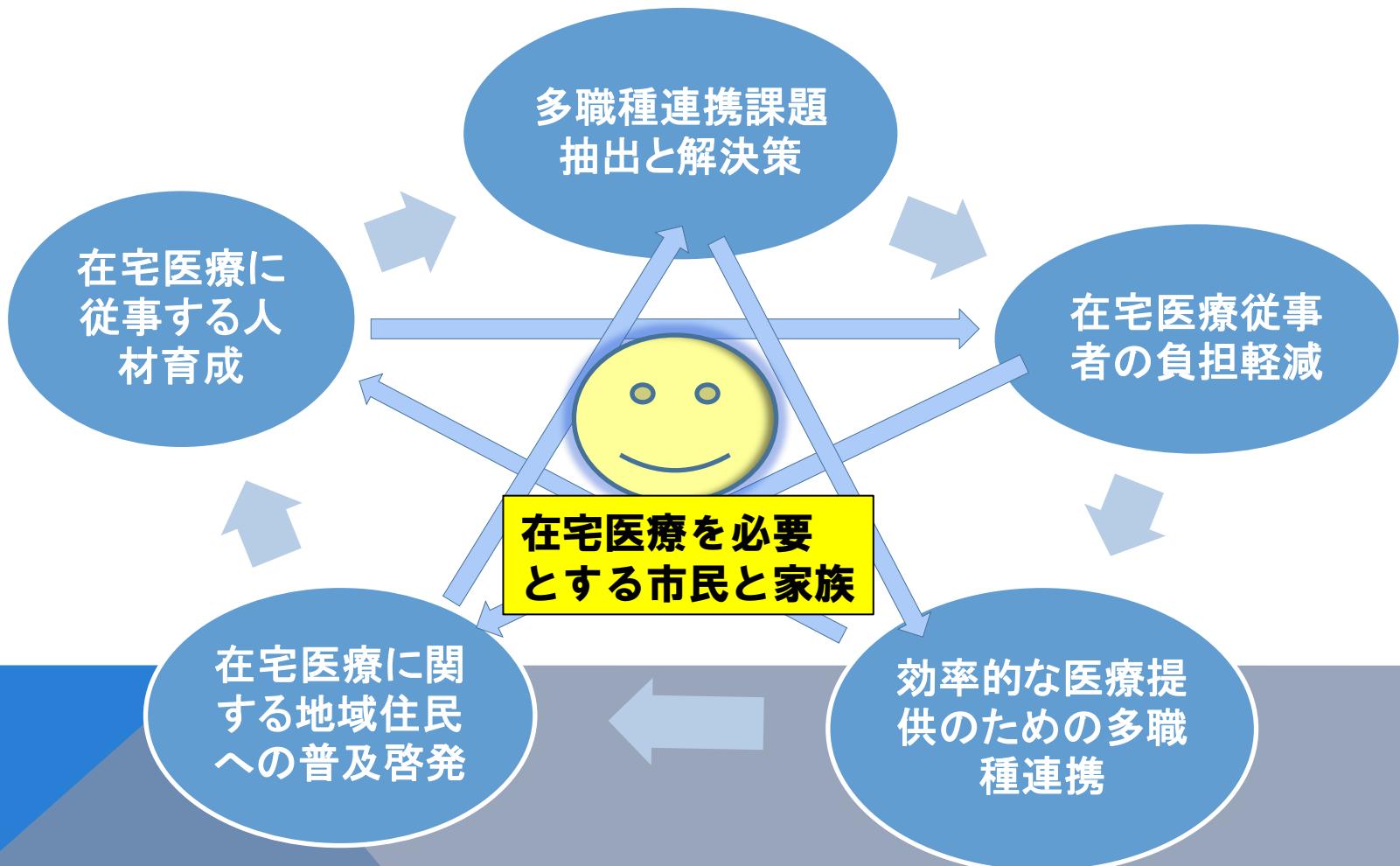
高浜市地域包括支援センター

高浜市いきいき広場が目指す「包括的」支援

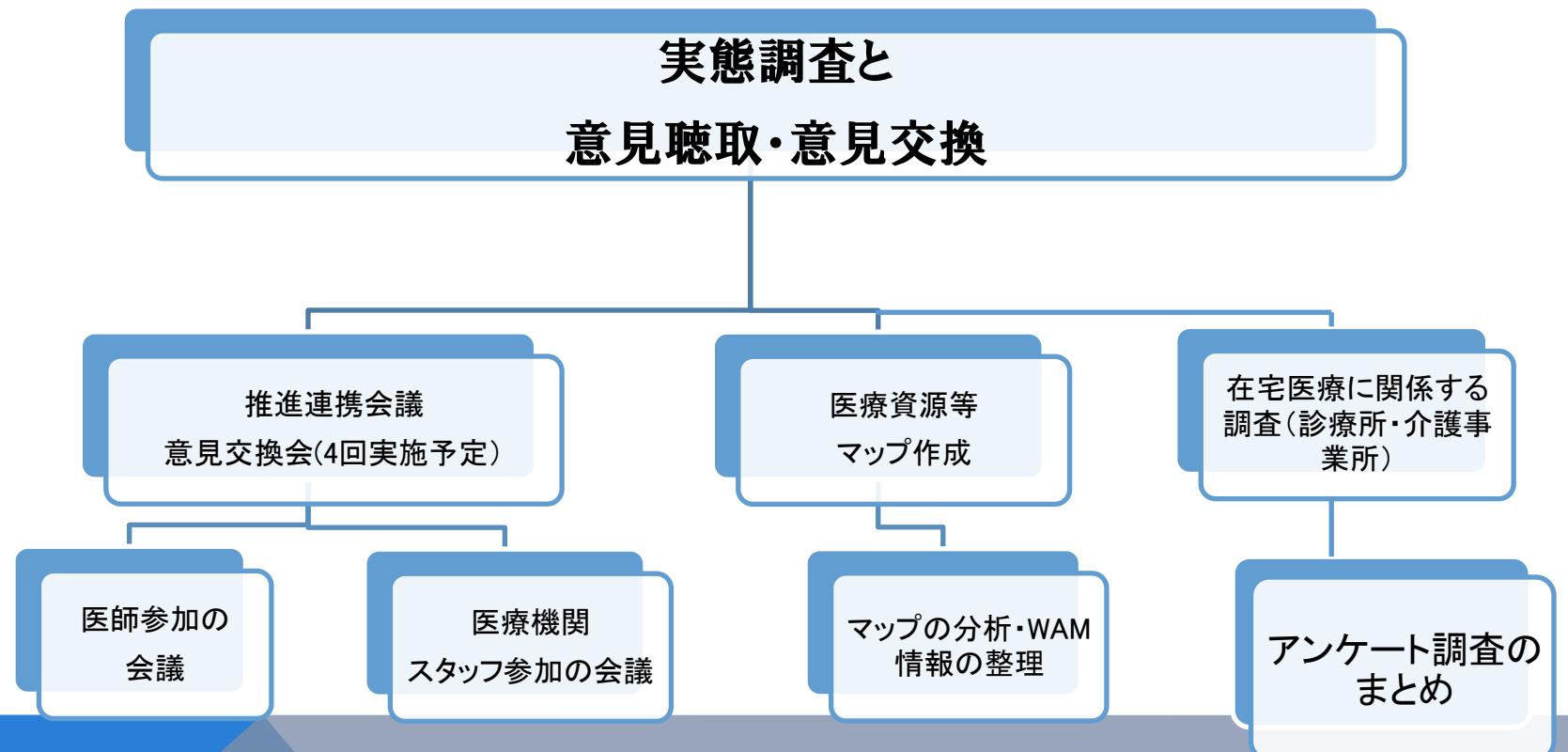


思いやり 支え合い 手と手をつなぐ
大家族たかはま (高浜市が目指す姿のキャッチフレーズ)

高浜市在宅医療連携拠点事業 が行う事業



多職種連携の課題に対する解決策の抽出



現状を「データ」と「意見交換」でみてみると・・・思いは一緒！

医療従事者の負担軽減

「相互理解」から…始めて

推進連携会議
意見交換会

医師参加の
会議

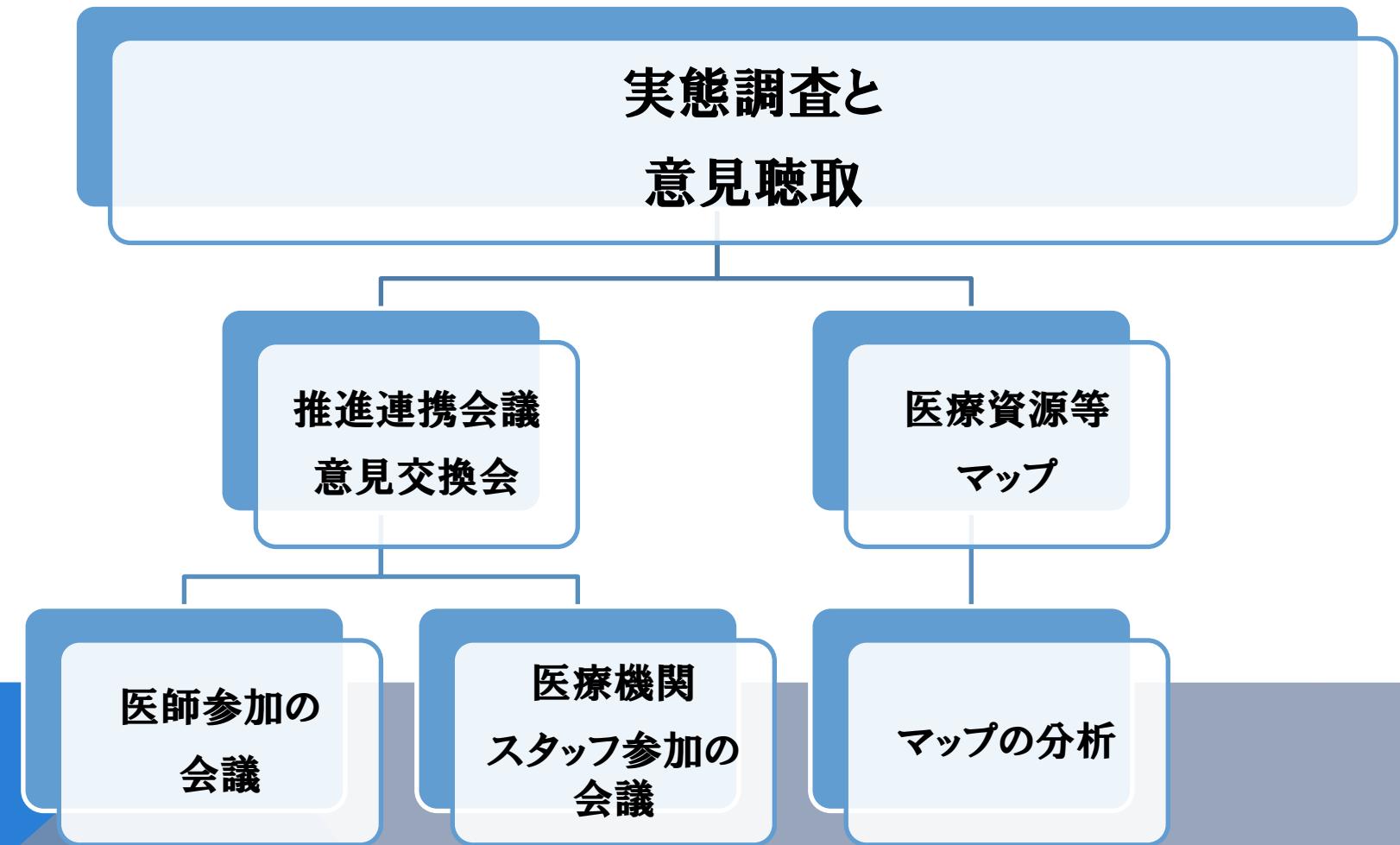
医療機関
スタッフ参加の
会議

地域ケア会議(サービス調整会議)でミニ講演会

関係者の取り組み紹介
や提案・提言

“顔”と“思い”的わかる・つながる「相互理解」から、役割期待や課題が見えてきた！

効率的な医療提供のための多職種連携



「知らなかつた不効率の実態」に気付いたり、「効率には連携必要」と再認識！

在宅医療に関する地域住民への普及啓発

普及啓発

高浜市エリアの情報や制度の紹介

講演会
(ネットワーク・拠点・他)

広報やチラシ
(ネットワーク・かかりつけ医)

市民会議
(寸劇でも紹介)

エリアで利用できるサービスを知ろう。…まずは「かかりつけ医師に相談」を啓発！

在宅医療に従事する人材育成

人材育成

人材育成事業への参加

現在：高浜市として次年度へのつなぎを模索中

取り組みのまとめ 1

1. 地域の実態調査(資源)

活動	実施時期	備考
高浜市資源マップ調査	平成24年8月	市内医療施設(18診療所 1病院) 市内歯科診療所(14か所) 市内薬局(13か所) 市内介護事業所(29事業所) 訪問看護ステーションなど(市外)
高浜市資源マップ作成		

2. 地域の実態調査(意識・課題)

活動	実施時期	備考
在宅医療に関するアンケート調査	平成24年8~9月	市内医療施設 介護事業所 訪問看護ステーションなど

課題の共有



- ★介護保険事業所の連携システムはあるが、医師や歯科医師、薬剤師との連携はケアマネ次第もしくは実施されていないものが多い。退院時に未調整の場合も。
- ★在宅医療推進に必要な、「訪問看護」「レスパイトベッド、急性期病院」は不足の実態がアンケート結果からも確認ができた。

取り組みのまとめ 2

3. 在宅医療に果たす役割(ミニ講演会)

講師	日時	参加者	場所
高浜市医師会長	平成24年 9月 6日	市内介護事業所 訪問看護ステーション	高浜市 いきいき広場
高浜市医師副会長	平成24年10月4日		
高浜市薬剤師会長	平成24年11月1日		
高浜市歯科医師会長	平成24年12月6日		
刈谷豊田総合病院高浜分院長	平成25年2月7日(予定)		

ちょっと いい話！



- ★ 各医師等のミニ講演会では、講師の講話だけではなく、在宅医療に関する「疑問」や「気づき」、「意見や提案」なども参加者から寄せられた。
- ★ 在宅医療利用者の使用している「薬の管理」や「薬の飲み合わせ」などの相談については、薬剤師さんから具体的な連携のあり方や、果たせる役割について改めて情報や提案があった。



取り組みのまとめ 3

4. 在宅医療連携会議

参加者	日時	場所
診療所医師と市内介護事業所	平成24年11月13日(火) 平成25年2月19日(火) (予定)	高浜市役所 高浜市いきいき広場
診療所看護師等と市内介護事業所	平成24年11月16日(金) 平成25年2月26日(火) (予定)	

ちょっと いい話！



★在宅医療を実施している開業医の先生からは「看取り」を含め「本人のみならず家族も含め支援」しているケースの実際の話や、「生まれることも、死ぬことも、その間の日常生活」にも医療が必要となる時に僕らが必要だ。本人が「在宅死を望む場合」でも、家族側に戸惑いや不安を訴える場合には「在宅で迎えられない死」もあるが本人も家族も尊重し、支えていきたい。との医師の発言に「頑張るエネルギーをもらった」と感じた参加者は多かった。



★連携のための「関係づくり」「役割の確認」「制度や地域のサービスの実際」「ケース支援のため情報共有・協議の在り方」など具体的な内容の意見交換ができた。

取り組みのまとめ 4

5. 地域住民への普及啓発講演会の実施

テーマ	講師	日時	場所
・「地域医療連携ネットワーク事業(定住自立圏協定)について」	・医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 地域医療・総合相談センター		
・「医療等分野の情報化」	・厚生労働省 政策企画官(情報政策担当事業室) 成松 英範 氏	平成25年 1月19日 (土)	高浜市 いきいき広場
・「在宅医療連携について」	・独立行政法人 国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部長 三浦 久幸 氏		

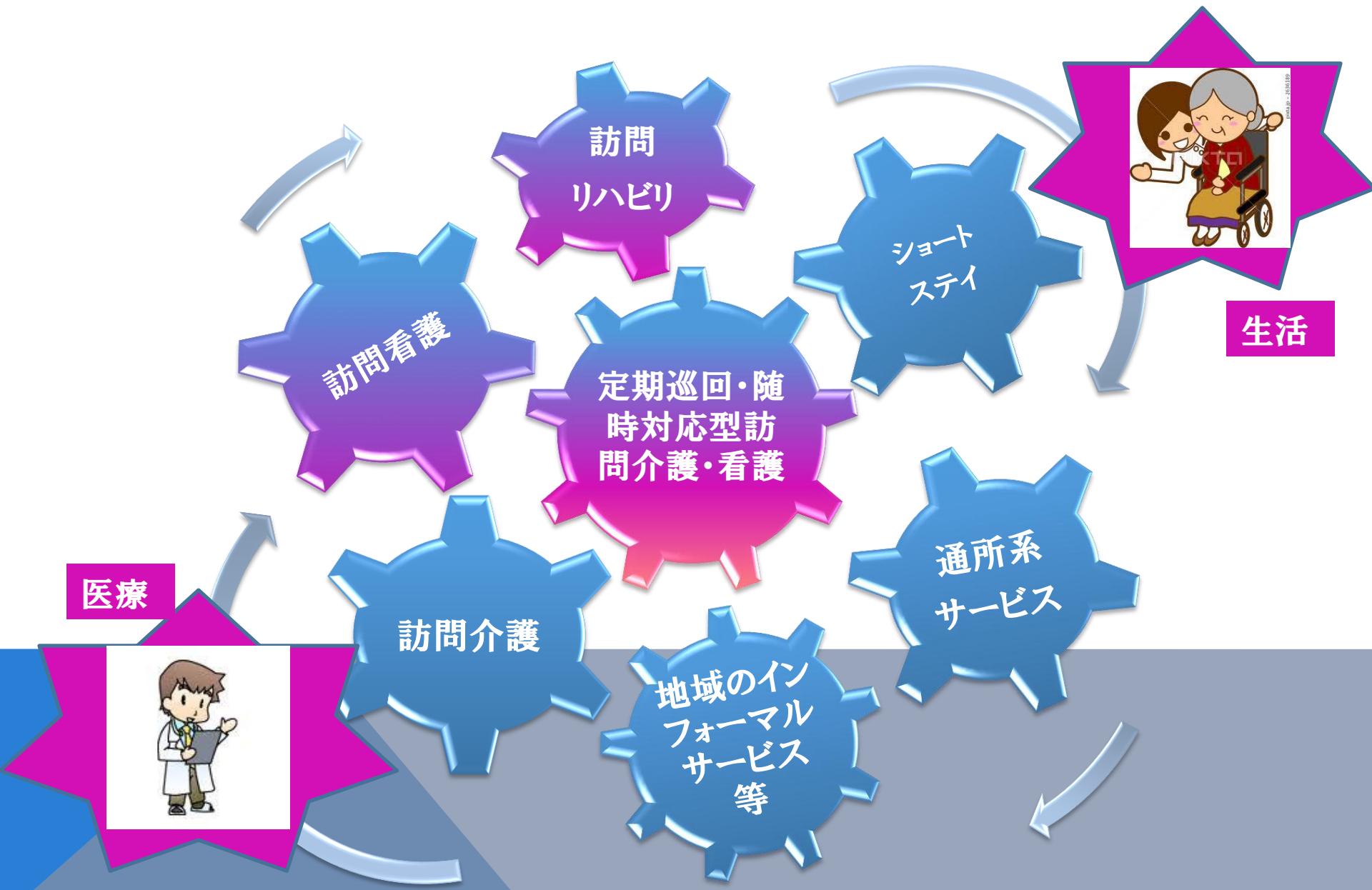


★「定住自立圏協定」に基づき、刈谷市を中心に3市1町(刈谷市、知立市、東浦町、高浜市)が、「生活機能の強化」を医療分野において「病診連携」の推進一環として「IT活用の医療ネットワーク」を推進中。

★「今なぜ在宅医療か?」を知ったうえで「在宅医療連携」とは?「その必要性」について各立場からお話しいただいた。

★市民には「地域でどのように生きるか?」、多職種と行政には「地域でいかに支えるか?」の宿題を再確認する日となった。

「在宅生活」を支える高浜市の新たなサービス



ヘルパー
ステーション
(社協職員)
(移動も可)

移動中でも通報受信・利用者情報確認・訪問指示が出来るシステム



定期巡回・随時対応型 訪問介護看護



- ・定期巡回等の作成
- ・サービス実績の承認

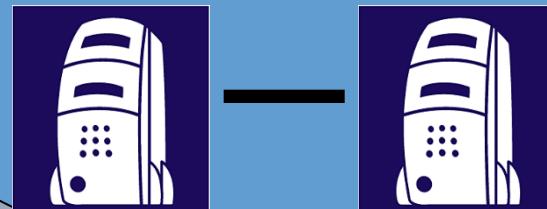


① 利用者情報の登録

- ・介護員記入の申送り事項の確認

③ 緊急通報受信

オペレーターシステム
(情報などの共有が可能)



② 緊急時 コール(通報)



利用者

⑥ 緊急訪問 複数回のケア

- ・緊急対応ケアの実施
- ・実施したケア内容・バイタル・申送り事項を登録

⑤ 緊急訪問指示受信

- ・訪問スケジュールの確認
- ・介護計画書・指示書・ケアの内容の確認
- ・申送り事項の確認

定期・随時
訪問ヘルパー



思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族 たかはま

(高浜市が目指す姿のキャッチフレーズ)

